

授業科目名 (サブタイトル(副題))	キャリアへのアプローチⅡ		
担当者	山本 美貴、大串 美沙		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
[到達目標] ① 就職サイトが活用できるようになる。 ② エントリーシートが書けるようになる。 ③ 就職試験のためのマナーとして、文書・電話・Eメールが的確に使えるようになる。 ④ 面接で自信をもって自己PRができるようになる。 ⑤ 就職のためのグループディスカッションができるようになる。 ⑥ 自らの希望・実力に見合った就職先を見つけることができるようになる。 [授業概要] 各授業回により、キャリアアドバイザーの経験を有する者が、就職活動など実践的な指導を行います。 業種や職種を理解するとともに、就職試験の具体例を知り、自らの希望職種の就職試験への計画を立てます。エントリーシートや履歴書を作成するにあたり、自己PRや志望動機を書く実習を行います。また、面接試験の準備として、社会人としてのマナーを習得し、実際にグループディスカッションや模擬グループ面接を行います。 前期に「キャリアへのアプローチⅠ」の単位を修得した学生の継続受講を希望しますが、後期だけでも履修できます。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] キャリアへのアプローチⅡは演習授業のため、授業を休んだ場合には必ず自主的に休んだ日の内容を確認し、提出物があれば提出してください。毎回、就職に直接役立つ授業内容が実施されますので、必ず復習をして完成させ、実際に活用できるよう準備をしてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1 時間程度)。 [授業計画] 1. 就職試験へのアプローチ(山本・大串) ・就職活動に向けて、2年次生の動向を知る ・ビジネスマナーの基本を身に付ける 2. 自己分析Ⅰ(山本・大串) ・自己PR、学生時代に力を注いだこと 3. 先輩の体験談(学外特別講師・山本・大串) ・本学の卒業生の話をきく、質疑応答 4. 就職サイトの活用法(山本・大串) ・秋冬のインターンシップについて 5. 自己分析Ⅱ(山本) ・履歴書、志望動機の書き方 6. 就職試験のための文書、電話、Eメール実習(山本) ・就職活動に必要な電話、Eメール、送付状の実習 7. 企業説明会のためのマナー(山本・大串) ・挨拶、言葉づかい、次回模擬面接の準備 8. 模擬面接1実施(山本・大串、外部面接官) ・4～5教室に分かれて模擬グループ面接実施する 9. 面接を振り返って、その対策 ・模擬グループ面接の反省と対策について(山本・大串) 10. 模擬面接2実施(山本・大串、外部面接官) ・各教室に分かれて、面接練習を実施、初回を振り返り、改善して臨む 11. グループディスカッションのためのマナー(山本・大串) ・グループディスカッションとは、次回グループディスカッションの準備 12. グループディスカッション実施(山本・大串、外部面接官) ・4～5教室に分かれてグループディスカッションを実施 13. 自己を客観的に振り返る(山本・大串) ・就活計画書を作成する [成績評価方法] 各回での課題提出物(50%)と積極的な授業への参加度(30%)、レポート(20%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出物は後日添削をして返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] (山本)@kwjc.kobe-wu.ac.jp (大串)moogushi@kwjc.kobe-wu.ac.jp 質問等がある場合は、メール本文に学科名、氏名、授業名を記載し、質問事項を記入してください。			

後期	演習	1 単位
----	----	------

授業科目名 (副題)	キャリアへのアプローチⅡ
担当者	山本 美貴、大串 美沙
【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)】 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: 積極的な授業への参加と課題提出物の内容で評価します。 【教養3-2】多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。 成績評価方法: 積極的な授業への参加とレポートで評価します。 [テキスト (ISBN)] [参考文献 (ISBN)]	